

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビープラスⅡ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 17日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23世帯	(回答者数) 17世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 17日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	食育に向けた様々な取り組みの充実	・学校休の取り組みとして、基本昼食はお子様達で意見を出しながら、メニュー決め、必要材料の買い出し、調理、食事、片付けまで全て自立に結び付けた内容で食育活動を実施。 ・月1回参加している子ども食堂にて、衛生面、管理など食に対する意識向上とともに、実際の食事提供の為の仕込みや、接客などを取り組んでいる。	・月1回の子ども食堂の参加は利用希望のニーズが高い為、それ以外での地域との連携で飲食店への協力をいただき、実際の厨房での調理などの活動を検討している。(過去数回実施もしている)
2	就労や自立に向けた訓練や、職業体験による就労への意識を向上できる支援の強化	・実際の就労事業所や、地域の職業体験などを長期休暇中に活動として取り入れる事により、実際に就労する前に経験を積んでおく事で、将来どんな仕事に就けるのか、視野が広がるよう支援を通してスキルアップをしてもらう取り組みを行っている。	職場体験や就労事業所での活動などを増やしているが、まだ少ない為、積極的に増やしていけるよう模索していく。
3	個々のニーズに合わせた個別支援計画を作成 (高学年対象の支援を実施しているので、ご本人のニーズも重要視している)	・主に中高生の在籍が多い為、進学についての悩み事や、就労先についての相談など、将来について必要な選択肢を必要としているケースが多い為、オープンキャンパスの検討や引率、直接的なお手伝いを実施している。また、そのニーズをご本人と面談をし、ご本人の意思決定を基に、計画書に落とし込む工夫を行っている。	・現在の進路先(就労先含む)では繋がりがまだ少ない為、積極的に進路先についての幅を広げながら個々のニーズ柔軟に対応出来るよう取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習面の活動が支援の主体ではない	・基本的には自立に向けた訓練や個々の個別課題、集団活動でも学習面での活動より、食育や自立に向けた活動カリキュラムに特化して作っている為、学習面でのサポートがニーズとして挙がると、差異が出てしまう為幅広いニーズ対応をしたいと考えている。	・学習面でのサポートは職員教育の必要性もあるので、学校のカリキュラムに沿った指導方法が必要となるので、学校との連携を強化して取り組む必要がある。
2	従業者の人数が少ない	・配置としては申し分ないのだが、活動の内容によっては必要な人員以上の活動を行いたいが、出来ない事もある。要因としては高学年対象で営業時間を他事業所よりも遅く設定している為、人材確保が難しいのが要因と考えられる。	人材の拡充に関しては、現在も積極的に取り組んでいる。
3	SNS等の活用がまだ少ない	・HPやInstagramなど、インターネット資源を活用はしているが、特にInstagramの更新頻度が少なく、人員不足も要因の一つとして考えられる。	他事業所のInstagramの更新頻度を見ていると、更新をほぼ毎日している事業所もあり、同様の更新を行いたいが、今現在は不定期更新(行事によって更新)しているので、曜日固定や、月何回更新など、頻度を固定して行うように今後はしていく予定で検討している。